







宗像大社歌会

俳句作品集(三)

久留米 後田太郎坊
小倉 伊豆 湧泉
細ほど紅顔し老梅かな

東京 小浦 太平
子の起りて原草吹きて
田熊 安部 ユキ
孫の入試合格電話高し

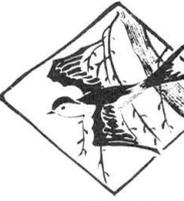
大井 安部 重郎
行着や地を染める散る道標
土 穴 八尋 恒夫
五月晴にもむらさきの

武丸 野中 和子
みりの日重む何しが新緑に
東京 小浦 登利子
たんぽぽや校庭にのぼり

津屋崎 井浦 良介
藤蔭を触るれば後かひひ春
朽舟若志賀の浜辺のしほり

福岡 入江 柳江
松の花をゆめて言の葉に
大井 木原 房子
薬務と修学旅行の手奪られ

福岡 坂井 春青
花火騒がしく白かめり
福岡 斉藤 信義
葉巻をとりつつ遠き波頭



出光佐三二問一答シリーズ

働く人の資本主義

五 働く人の資本主義と現代的諸問題
1 自由競争と価格
「働く人の資本主義について、いろいろの角度から問答してき

「働く人の資本主義」について、いろいろの角度から問答してき
ました。それは、おのづからい

「働く人の資本主義」について、いろいろの角度から問答してき
ました。それは、おのづからい

「働く人の資本主義」について、いろいろの角度から問答してき
ました。それは、おのづからい

「働く人の資本主義」について、いろいろの角度から問答してき
ました。それは、おのづからい

「働く人の資本主義」について、いろいろの角度から問答してき
ました。それは、おのづからい

「働く人の資本主義」について、いろいろの角度から問答してき
ました。それは、おのづからい

沖鳥

か相談を行なったが、この出光は
調査の再開を急務とする重要
な資とせよとの意思の顕れと感

宗像神社津宮祭祀遺跡

昭和四十四年度調査報告
一 概況
二 調査の経緯

一 概況
二 調査の経緯
三 遺跡の位置
四 調査の方法



「争うべきではないか」といふ。しかし、
そのいかにいふ、みんなどれも
してはやく能率の向上になるよ

宗像庵藤先生百話



紀白浪、与上山英一郎邂逅
。昭和四年電報年八月上野
蘇峰徳一郎撰 津川吉郎書

「混血児」
物質は是を是として、やはり
メタンはメタンとして一善い

(新任者紹介)

新任者について紹介いたします
今後宜しく御指導御鞭撻の程願

松本肇

まともはじめ、昭和十七年、現
在の北平軍事情勢、戦況、

東弘

炭坑で育ちた由利の生れ。現在
は福岡市に在住。昭和四

堀宏

昭和二十二年、長崎県佐世保市
四男の末の方で、男は番

神正

神正にまつた動機は、卒論で
「青柳種」の研究するに当り、